

2016 年 10 月 4 日

株式会社ゼンリン

「第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016」に出展 自動運転機能の実現に向けた地図ソリューションの取り組みを紹介 会期:2016 年 10 月 10 日(月)～14 日(金)

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、2016 年 10 月 10 日(月)～14 日(金)まで、オーストラリア・メルボルンで開催される「第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016」において、特定非営利活動法人 ITS Japan の展示コーナー「JAPAN PAVILION」内にブースを出展します。ダイナミックマップの具現化と、ADAS^(※1)/自動運転機能へ向けた地図ソリューションの取り組みを紹介します。



■ 出展内容

(1) 自動運転向け地図ソリューション「ZGM Auto」

「ZGM Auto」は自動運転機能の実現に向けてゼンリンが取り組んでいる、3 次元高精度空間データベース(ZGM HD for Sensing)、道路ネットワークデータ(ZGM NW for Horizon)から構成される、高度な地図ソリューションです。2020 年の自動運転機能の実現に向けた開発・整備の取り組みを紹介します。

(2) 動的情報の生成/地図データのタイムリーな更新に向けた研究開発

自動運転機能の実現には、常に変化する道路上の状況を動的情報として地図データベースを連携させる機能や、地図の変化点情報をタイムリーに反映・提供することが期待されています。今回、日本アイ・ビー・エム株式会社の協力のもと、IBM クラウドを基盤とした自動車業界向けの IoT^(※2)ソリューションを利用し、車両の走行データ(プローブ情報)を集約・分析・活用する研究開発の取り組みを紹介します。

また、2016 年 6 月にゼンリンなど 15 社が出資して設立した、ダイナミックマップ基盤企画株式会社の取り組みも紹介します。

(補足資料)

■ 展示会概要

名 称	第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016 (23nd ITS World Congress Melbourne 2016)		
会 期	2016 年 10 月 10 日(月)～10 月 14 日(金)		
会 場	The Melbourne Convention and Exhibition Centre (MCEC)	ゼ ン リ ン ブ ー ス 位 置	JAPAN PAVILION ブース内
主 催	メルボルン世界会議組織委員会	ITS 世界会議 公 式 サイト	http://www.itsworldcongress2016.com/

※1 ADAS(Advanced Driver Assistance System): 運転支援システム。

※2 IoT(Internet of Things): 様々なモノがインターネットに接続され情報交換することにより相互に制御する仕組み。

※ 記載されている社名、商品名等は、各社の登録商標、または商標です。